

学生さんのために
「GFI資格」養成校になりませんか。

養成校制度導入のご案内

6種目のグループエクササイズ指導者資格「GFI」
Group exercise Fitness Instructor (グループエクササイズフィットネスインストラクター)



◆ 申請手順

- Step 1** **カリキュラムを確認**
 貴校のカリキュラムが、GFI資格のガイドラインに準拠しているか確認してください。
※ガイドラインは、JAF Aウェブサイト(トップページ→資格等認定→GFI養成校のご紹介)で公開しています。
- Step 2** **担当教員を決定**
 理論と実技の担当教員を選任してください。
- Step 3** **養成校研修会へ参加**
 担当者は、GFI養成校研修会へ参加してください(毎年秋に開催)。
- Step 4** **申請書類を提出**
 「養成校申請書」「養成校講座内容」「担当職員(教員)略歴一覧表」「養成講座案内書類(シラバスやパンフレットなど)」を提出してください。

◆ 料金 (税込)

項目	料金	支払いの時期と回数
審査料	16,500円	初年度登録時
認定料	42,900円 (種目数問わず)	年1回
研修会参加費	11,000円 (参加者1名あたり)	年1回
受験料	17,800円 (学生1名あたり。卒業後1年まで再受験料無料)	学生が在学中に1回
資格登録料	13,200円 (学生1名あたり)	学生が在学中に1回

※インストラクター(上級)レベル合格者は、資格登録手続きのほか、日本フィットネス協会正会員への入会が必要(入会金10,500円、年会費15,000円)ですが、養成校の学生は、入会金と初年度の年会費が免除となります。

申請の手続きは複雑ではありませんので、
お気軽にご相談ください。
直接、ご説明に伺うこともできます。



お申し込み・お問い合わせは………
公益社団法人 日本フィットネス協会(JAFA)事務局
 〒136-0071 東京都江東区亀戸1-8-7 飯野ビル5階
 電話: 03-5875-1035 FAX: 03-5875-1057
 メール: license@jafa-net.or.jp

※このパンフレットの情報は、2019年10月現在のものです。

得意分野やレベルに応じて多様な選択が可能

GFIは、以下の**6種目**のグループエクササイズインストラクター資格の総称です。

- AD** (エアロビックダンスエクササイズ)
- RE** (レジスタンスエクササイズ)
- SE** (ストレッチングエクササイズ)
- WE** (ウォーキングエクササイズ)
- AQW** (アクアウォーキングエクササイズ)
- AQD** (アクアダンスエクササイズ)

それぞれの種目は、中級（ベーシックレベル）と上級（インストラクターレベル）の**2段階**があり、各人の得意分野やレベルに応じて取得できます。

社会的信用と実践的指導力を備えた確かな証を携えて社会へ

GFI資格は、スポーツ科学分野の研究者と現場指導者が共同して認定制度化に携わっているため、**学術に基づき、かつ実践的な指導力**を身につけることができます。さらに、内閣府所管の公益社団法人日本フィットネス協会（JAF）が認定することから、**社会的信用を備えた資格**として認知されています。つまりGFIを取得することは、健康・体力づくり運動（フィットネス）の専門知識やグループにおける指導技術を備えたことへの、確かな証となります。

経済的なメリット大

GFI資格養成校に登録すると、実技試験・筆記試験の両方を学内で実施できます。学生は他の試験会場に出向くための時間や費用を節約することができ、健康・スポーツや福祉、栄養等を学んでいる学生にとっては、**授業の延長線上で負担なく在学中にGFI資格試験へチャレンジ**できます。

※詳細は右ページをご参照ください。



1 カリキュラムの大きな見直しは不要

理論講義、実技実習で構成している「GFI資格」ガイドラインは、健康・スポーツ系の大学、短期大学、専門学校で既に開講しているカリキュラムで実施可能ですので、導入しやすい養成校制度です。

※(公財)健康・体力づくり事業財団 認定の健康運動実践指導者および健康運動指導士養成校はGFI資格ガイドラインの「理論講義」の基準を満たしています。

2 在学中は一律料金で、何度でも6種目の受験が可能

在学中に受験する場合、受験料17,800円/名で最大6種目の受験が可能です。不合格の場合でも再受験料はかかりませんので何回でもチャレンジでき、在学中は再受験の回数を問いません。なお、合格後の資格登録料(13,200円)も一律であるため、在学中に複数の種目を受験しても、追加の登録料はかかりません。

3 試験実施における学校の経費負担は0円

試験官は、当協会登録のエグザミネーター（試験官）を派遣します。その際、養成校には経費（試験官謝金、交通費）負担はありません。

4 試験は学内で実施

学生が慣れている環境で試験を実施するため、余計なプレッシャーや緊張がない状態で試験に臨めます。

5 実技試験対策講座を実施可能

ご要望に応じて、外部講師による試験対策講座を実施できます（別途費用が必要な場合があります）。合格率アップのためにぜひ活用してください。

6 飛び級受験が可能

一般受験では、「中級（ベーシックレベル）」を受験してからを「上級（インストラクターレベル）」に臨むこととなりますが、GFI資格養成校においては中級を受けずに上級の試験に臨むことができます。

7 福祉資格や栄養士にプラス1の資格を

近年は福祉資格や栄養士が就職する福祉業界からの受験も見受けられます。在学中に「GFI資格」も併せて取得すると、仕事現場で役立ちます。

8 教職コース学生も学んでおきたい「エアロビクス」

2017年に学習指導要領が改訂され、小学校学習指導要領解説や中学校学習指導要領解説において、例示として「エアロビクス」が表記されました。今や、学校教育の現場でもGFIの資質が必要とされています。

9 卒業後も再受験が無料

養成校の卒業後1年以内であれば、無料で資格取得に再挑戦できます。

10 初回更新時の必須単位数を軽減&期限を延長

養成校在学中にGFI資格を取得し、かつ登録した場合、資格の初回更新時の必須単位数を軽減します（例：15単位→10単位）。また、初回の更新時期（通常は取得から約2年）は、最長で社会人2年目9月まで優遇します。

